



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場会社名 エン・ジャパン株式会社 上場取引所 大
 コード番号 4849 URL <http://corp.en-japan.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 孝二
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 藤野 孝 (TEL) 03(3342)4506
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,435	—	1,281	—	1,358	—	806	—
24年3月期第2四半期	5,740	—	963	—	975	—	452	—

(注)1. 包括利益 25年3月期第2四半期 903百万円(—%) 24年3月期第2四半期 556百万円(—%)

2. 当社は、平成24年3月期より決算期を毎年12月31日から毎年3月31日に変更しております。これに伴い、25年3月期第2四半期(4月から9月まで)と、比較対象となる24年3月期第2四半期(1月から6月まで)の月度が異なるため、25年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

3. 24年3月期第2四半期における対前年同四半期増減率については、平成22年12月期第2四半期に四半期連結財務諸表を作成していませんので、記載していません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	3,637 97	3,636 23
24年3月期第2四半期	2,041 56	2,038 91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,602	14,058	84.7
24年3月期	16,084	13,581	84.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 14,058百万円 24年3月期 13,581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	— —	— —	0 00	— —	1,850 00	1,850 00
25年3月期	— —	0 00				
25年3月期(予想)			— —		1,950 00	1,950 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,770	—	2,700	—	2,800	—	1,530	—	6,903 77

(注)1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 24年3月期は、決算期変更により15ヶ月決算となっておりますので、25年3月期の連結業績予想の対前年増減率については記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	246,142株	24年3月期	246,118株
25年3月期2Q	24,500株	24年3月期	24,500株
25年3月期2Q	221,640株	24年3月期2Q	221,408株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 12
(5) セグメント情報等	P. 12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

前連結会計年度（平成24年3月期）は12月決算から3月決算へ決算期の変更をしたことにより15ヶ月決算となっております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間（平成23年1月1日～平成23年6月30日）と当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）とは対象期間が異なっておりますので、前年同四半期連結累計期間との比較は行っておりません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の財政・金融不安が継続していることに加え、円高の長期化や新興国における景気減速懸念など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

雇用環境については回復傾向が続いているものの、平成24年9月の有効求人倍率が3年2ヶ月ぶりに前月を下回るなど、不安要素も見られます。

このような状況の中、当社は主力の「[en]社会人の転職情報」において、成功報酬型求人広告の拡販及び入社者数増加のための施策を強化してまいりました。

また、子会社であるエンワールド・ジャパン株式会社において、国内成長企業向けの管理職及びプロフェッショナル人材を対象とした人材紹介ブランド「en premium」を新設し、エン・ジャパングループとして、求職者・求人企業に対し、多様なサービスラインアップの提供に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,435百万円、営業利益は1,281百万円、経常利益は1,358百万円、四半期純利益は806百万円となりました。

なお、ご参考として下記に前年同期業績比較を記載しております。

(ご参考) 対前年同期業績比較

(単位：百万円)

	平成24年3月期 第2四半期・第3四半期 (平成23年4月～9月)	平成25年3月期 第2四半期累計 (平成24年4月～9月)	対前年同期間 増減率
売上高	6,005	6,435	7.2%
営業利益	1,174	1,281	9.1%
経常利益	1,073	1,358	26.6%
四半期純利益	514	806	56.7%

① 中途採用事業

「[en]社会人の転職情報」は、引き続き企業の人材採用需要が堅調であったこと、積極的な営業施策を行ったこと等により、成功報酬型求人広告の掲載件数及び入社者数は前年同期間を上回りました。また、各種のトライアル施策を実施し、今後の掲載件数及び入社者数増加に向けた取組みを強化いたしました。

一方、積極的な成功報酬型求人広告の拡販に伴い、掲載課金型求人広告の件数は計画を下回りました。

「[en]派遣のお仕事情報」は、平成24年8月に予定していたサイトリニューアルが延期となったこと、顧客の派遣会社が保有する求人案件と求職者のマッチングから「[en]チャレンジ!はた☆らく」に一部の掲載案件が移ったこと等により計画を下回る売上高となりました。

「[en]転職コンサルタント」は、サイト運用の改善により掲載効果が高まったこと、人材紹介会社向けの成功報酬型サービスが順調に推移したこと等から、計画を上回る売上高となりました。

「[en]チャレンジ!はた☆らく」は、従来は事業会社の求人案件も掲載しておりましたが、平成24年6月から派遣会社が保有する求人案件の掲載に特化いたしました。当第2四半期連結累計期間においては販売系や事務系の求人ニーズが高かったことから、計画を上回る売上高となりました。

エンワールド・ジャパン株式会社は、継続的に取組んできた各種施策の成果が着実に上がったことにより、グローバル企業及び求職者から高い評価をいただいております。本年8月には、国内成長企業向けの人材紹介サービスブランド「en premium」を新設し、サービスラインアップの拡充を図りました。これらの取組みに加え、グローバル企業の人材採用意欲が高かったこと、新たに採用した人員が戦力化したこと等により、計画を大幅に上回る業績となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,861百万円、営業利益は1,510百万円となりました。

② 新卒採用事業

平成25年（2013年）度の採用マーケットは終盤戦に入っており、平成26年（2014年）度に向けた企業の採用計画、採用準備が本格化しております。

このような中、平成24年12月にオープンする「[en]学生の就職情報2014」の積極的な営業活動を行い、既存の顧客企業を中心に受注は堅調に進んでおります。

当第2四半期連結累計期間における売上高は391百万円、営業損失は215百万円となりました。

③ 教育・評価事業

定額制研修サービス「エンカレッジ」は、4月に新規会員企業数が増加したことから売上高が堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は151百万円、営業利益は24百万円となりました。

なお、ご参考として下記に前年同期間セグメント業績比較を記載しております。

(ご参考) 前年同期間セグメント業績比較

(単位：百万円)

		平成24年3月期 第2四半期・第3四半期 (平成23年4月～9月)	平成25年3月期 第2四半期累計 (平成24年4月～9月)	対前年同期間 増減率
中途採用事業	売上高	5,454	5,861	7.5%
	営業利益	1,620	1,510	△6.7%
新卒採用事業	売上高	369	391	6.1%
	営業利益	△307	△215	—
教育・評価事業	売上高	125	151	20.6%
	営業利益	△4	24	—

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ518百万円増加し、16,602百万円となりました。これは、現金及び預金が546百万円増加したことなどが主な要因であります。

また、負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ41百万円増加し、2,543百万円となりました。これは賞与引当金が92百万円増加したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ476百万円増加し、14,058百万円となりました。これは、利益剰余金が377百万円、その他有価証券評価差額金が111百万円増加したことが主な要因であります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果増加した資金は、1,363百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益1,340百万円があったことなどが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した金額は、264百万円となりました。これは固定資産の取得による支出が257百万円、関係会社株式の取得による支出が131百万円あり、定期預金の払戻による収入150百万円があったことなどが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、423百万円となりました。これは、配当金の支払額408百万円があったことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期連結業績予想については、下記の通り、個別業績予想を見直したものの、子会社のエンワールド・ジャパン株式会社が好調を維持する見通しであることから、平成24年5月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

(ご参考)

平成25年3月期個別業績予想の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	11,050	2,740	1,580	7,129 38
今回予想 (B)	10,830	2,670	1,540	6,948 14
増減額 (B-A)	▲220	▲70	▲40	
増減率 (%)	▲2.0	▲2.6	▲2.5	

個別業績予想につきましては、成功報酬型求人広告にリソースを集中させることにより、掲載課金型求人広告の計画達成が困難であること、「[en]派遣のお仕事情報」のリニューアルが遅れたこと等により前回予想を下回る見通しとなりましたので、修正いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,815,613	8,362,036
受取手形及び売掛金	1,303,775	1,269,703
その他	437,300	477,641
貸倒引当金	△6,238	△12,349
流動資産合計	9,550,450	10,097,031
固定資産		
有形固定資産	539,162	482,175
無形固定資産		
のれん	1,471,173	1,386,157
その他	699,803	745,943
無形固定資産合計	2,170,977	2,132,100
投資その他の資産		
投資有価証券	2,244,639	2,378,620
その他	1,592,104	1,526,647
貸倒引当金	△13,211	△14,132
投資その他の資産合計	3,823,533	3,891,135
固定資産合計	6,533,672	6,505,411
資産合計	16,084,123	16,602,443
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,950	28,577
リース債務	31,416	27,813
未払法人税等	235,067	500,322
賞与引当金	391,225	483,271
その他	1,682,109	1,339,312
流動負債合計	2,373,770	2,379,298
固定負債		
長期未払金	66,498	88,743
リース債務	35,045	22,306
資産除去債務	26,818	53,482
固定負債合計	128,361	164,533
負債合計	2,502,132	2,543,831

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,812	978,478
資本剰余金	1,444,376	1,445,043
利益剰余金	14,101,568	14,479,467
自己株式	△3,438,187	△3,438,187
株主資本合計	13,085,570	13,464,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	507,138	618,399
為替換算調整勘定	△10,717	△24,589
その他の包括利益累計額合計	496,421	593,809
純資産合計	13,581,991	14,058,612
負債純資産合計	16,084,123	16,602,443

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,740,184	6,435,315
売上原価	925,890	923,541
売上総利益	4,814,293	5,511,774
販売費及び一般管理費	3,850,658	4,230,033
営業利益	963,634	1,281,741
営業外収益		
受取利息	10,380	9,321
受取配当金	30,000	32,500
持分法による投資利益	27,007	34,091
雑収入	6,897	6,522
営業外収益合計	74,285	82,436
営業外費用		
投資事業組合運用損	2,113	—
支払家賃	51,874	—
為替差損	—	3,819
雑損失	8,878	1,809
営業外費用合計	62,865	5,629
経常利益	975,054	1,358,548
特別利益		
貸倒引当金戻入額	10,000	—
特別利益合計	10,000	—
特別損失		
固定資産除却損	63,774	1,398
投資有価証券評価損	—	16,926
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,247	—
子会社設立費用	101,514	—
特別損失合計	169,536	18,325
税金等調整前四半期純利益	815,518	1,340,222
法人税、住民税及び事業税	302,639	497,608
法人税等調整額	52,897	36,294
法人税等合計	355,537	533,902
少数株主損益調整前四半期純利益	459,980	806,320
少数株主利益	7,962	—
四半期純利益	452,018	806,320

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	459,980	806,320
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	92,930	111,260
持分法適用会社に対する持分相当額	3,553	△13,872
その他の包括利益合計	96,483	97,388
四半期包括利益	556,464	903,708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	548,502	903,708
少数株主に係る四半期包括利益	7,962	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	815,518	1,340,222
減価償却費	342,714	284,416
のれん償却額	68,444	85,016
移転引当金の増減額(△は減少)	△55,023	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,802	7,032
賞与引当金の増減額(△は減少)	70,421	92,046
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	1,666	△7,826
受取利息及び受取配当金	△40,380	△41,821
為替差損益(△は益)	△269	3,819
持分法による投資損益(△は益)	△27,007	△34,091
投資事業組合運用損益(△は益)	2,113	△855
投資有価証券評価損益(△は益)	—	16,926
固定資産除却損	63,774	1,398
子会社設立費用	101,514	—
売上債権の増減額(△は増加)	69,209	45,529
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,390	△8,691
未払金の増減額(△は減少)	△243,933	△372,967
その他の流動資産の増減額(△は増加)	52,212	30,052
その他の流動負債の増減額(△は減少)	129,540	43,834
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△7,751	△23,796
その他の固定負債の増減額(△は減少)	43,482	48,539
小計	1,364,051	1,508,785
利息及び配当金の受取額	40,364	94,302
法人税等の支払額	△774,460	△239,557
子会社設立費用の支払額	△101,514	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	528,441	1,363,529
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	300,000	150,000
有形固定資産の取得による支出	△113,903	△28,299
無形固定資産の取得による支出	△109,663	△229,602
投資有価証券の取得による支出	△30,361	—
投資有価証券の売却による収入	7,584	22,820
関係会社株式の取得による支出	△107,092	△131,359
敷金及び保証金の差入による支出	△27,750	△381
敷金及び保証金の回収による収入	288,197	1,579
保険積立金の積立による支出	△6,456	△6,456
貸付けによる支出	△1,000	△45,621
貸付金の回収による収入	10,119	2,906
その他の支出	△1,804	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	207,868	△264,415

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	3,246	1,333
配当金の支払額	△250,699	△408,122
少数株主への配当金の支払額	△8,400	—
リース債務の返済による支出	△9,946	△16,341
財務活動によるキャッシュ・フロー	△265,800	△423,130
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	470,510	675,980
現金及び現金同等物の期首残高	5,884,799	7,665,613
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	20,443
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,355,309	8,362,036

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	中途採用 事業	新卒採用 事業	教育・評価 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,119,761	444,995	121,350	5,686,107	54,076	5,740,184
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,119,761	444,995	121,350	5,686,107	54,076	5,740,184
セグメント利益又は 損失(△)	1,413,691	△270,876	△15,782	1,127,032	△163,398	963,634

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない、エン・ウエディング及びFINEであります。
2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	中途採用 事業	新卒採用 事業	教育・評価 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,861,105	391,544	151,314	6,403,965	31,350	6,435,315
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,861,105	391,544	151,314	6,403,965	31,350	6,435,315
セグメント利益又は 損失(△)	1,510,920	△215,183	24,789	1,320,527	△38,785	1,281,741

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない、エン・ウエディング及びFINEであります。
2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。